

20 ミゾレヌマエビ

(ヌマエビ科)

兵庫県ランク:B

Caridina leucosticta

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本海側では新潟県以南、太平洋側では千葉県以南に分布する。体長30mm。雌の方が大型になる。額角の上縁に歯列が並び、先端部に離れた数歯を合わせて15~25歯ある。下縁には10歯程度認められる。河口から中流域の流れの緩やかな場所を好む。淡水から汽水の上端付近に生息するが、両側回遊性であり、幼生は海へ降下しないと成長できない。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△	○						△

県内分布

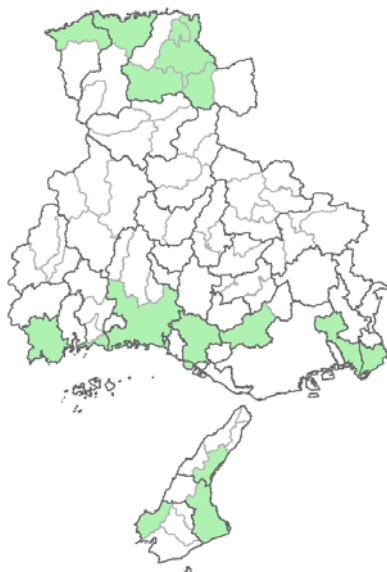
尼崎市、西宮市、加古川市、三木市、姫路市、たつの市、赤穂市、豊岡市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。日本海側及び加古川以外の瀬戸内海側では個体数は多くない。一方淡路島では南部を中心に、比較的安定した個体群が認められる。

保護上の留意点

加古川河口及び淡路島南部以外では個体数が多くなく、また、両側回遊性であるため、河口堰やダムなどの人的要因で稚エビの遡上が阻害されないよう、注意が必要である。



【執筆者】 渡部哲也